

「海洋・漂着ごみ」を減らして美しい海に

周囲を海に囲まれた平戸市では「海洋・漂着ごみ」は、市民の皆さんの身近にある環境問題の一つです。

平戸市にも海流や風に運ばれ、日本製の物はもちろん、遠く離れた外国製の物などいろいろな物が流れ着いています。海洋ごみは、海や海岸を汚すだけでなく、環境破壊につながり、海の生き物にも影響を与えています。

平成30年度に全国の自治体や民間団体などで回収された海洋ごみの量は3万2千トンにもなり、その内訳は、発泡スチロール、廃ポリタンク、漁網、ロープ、ポリ袋、洗剤容器、飲料用ボトルなどです。

海洋ごみのほとんどは、街



で捨てられたごみなどです。それらが水路や川に流れ出し、やがて海へ流れ着きます。海岸や川にごみを不法投棄することはもちろん、陸上での不法投棄も、絶対に行わないでください。

市民の皆さんがごみを分別し、地区のゴミステーションに出すなど、自分でできることを実践し、平戸の美しい海を守っていきましょう。

市民課生活環境班 ☎22-9121

《「平戸よかよか体操」オリジナルCDおよびDVDを無償貸し出し中です！》

— みんないきいき元気に —

高齢者の通いの場訪問

VOL.59

平戸市では、高齢者がいつでも元気でいられるために、身近な地区公民館などで健康体操「平戸よかよか体操」を毎週行う場の設置を推進しています。

このコーナーでは、各地区の「高齢者の通いの場」を毎月紹介しています。

☎ 長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) ☎22-9133



ちゃばな
「64茶花」

木引地区では、平成30年10月から平戸よかよか体操を行う通いの場を始めました。木引町には日本初の茶畑があり、1年中青々と葉が茂り、秋には白い花が咲き、生け花としても楽しまれています。そして市内で64カ所目の通いの場として新聞にも掲載されたことから「64茶花」と命名しました。

平均年齢73歳、毎回12人程が参加しています。体操だけでなく、^{えんげ}嚙下訓練、グラウンドゴルフ、美化活動、茶話会、日帰り旅行など行っています。随時、参加者を募集中ですので、お気軽に遊びに来て下さい。

活動日/毎週水曜
午前9時～11時
活動場所/木引公会堂
開催地区/木引
代表/近藤 妙子

Interview

64茶花

代表
近藤 妙子さん
(木引町)



よかよか体操を友達に勧められていたころ、それと同時期に老人会からも立上げの話が出て、老人会会長の「ぜひやろうよ」という後押しもあり始まりました。

木引地区は広く、以前は会う機会が少なかった人とも通いの場ができたおかげで週1回お話しできるようになりました。会うのを楽しみにされていて1kmほど歩いて通っている人もいます。

皆で声を掛け合い茶葉の花の様にかわいく・若々しく・喜びを感じながら長生きできる会になったら良いと思います。



『ダンクウェル! (ありがとう)』

私は8月に大阪へ転出することになりました。寂しいですが、この日記は18回目です。後になります。

2018年8月、山のない国から平戸に来たときは真っ青な海、真っ赤な平戸大橋に圧倒されました。初日は、職場の人と日用品を揃えに市内を回りました。どこへ行ってもその人の知り合いに出くわし「さすが平戸生まれ平戸育ちだ」と思いました。

しかし、私もいつの間にか顔見知りが増え、外に出ればよく声をかけてもらえるようになりました。周りから常に気にかけていただき、生活で困ったことは1度もありません。私を温かく受け入れて、いつも応援してください。



国際交流員
ポエト ボニー
(オランダ王国出身)

戸の皆さんのおかげです。今年9月からの1年間は、平戸・ノールトワイク市(オランダ)姉妹都市締結10周年の年になります。両市のこれまでの取り組みは多くの市民の思いがこもった、長い歴史の中での国際交流を物語る素晴らしいものだと思います。オランダ人として、これからもずっと交流を続けてほしいと思います。

8月から平戸から遠く離れることを考えると心苦しいですが、平戸でのたくさんの思い出が思い浮かびます。平戸での出会いと経験を次の力として生かしていきたいと思えます。最後になりますが、今まで本当にありがとうございました。

国際交流課交流推進班 ☎22-9143